



Create a New Data World!

研究データ利活用協議会 平成30年度公開シンポジウム ～研究データ利活用のさらなる促進のために～

日時：平成31年2月18日（月） 14：30～18：00（予定）
受付開始14：00

参加無料

場所：JST東京本部別館1階JSTホール（千代田区五番町7）

申込サイト：<https://form.jst.go.jp/enquetes/rduf20190218>
申し込みはこちら→



スケジュール

時間	内容
14:30-14:50	開会にあたって 研究データ利活用協議会の活動紹介 (特に小委員会活動について)
14:50-15:30	招待講演「超多項目(2000)健康ビッグデータをどう活かすか？ －研究データの戦略的利活用によるオープンイノベーション2.0への挑戦－」 村下公一（弘前大学医学研究科教授／COI研究推進機構副拠点長）
15:30-16:10	小委員会活動報告（データ管理計画）
16:10-16:50	小委員会活動報告（研究データのライセンス検討）
16:50-17:30	小委員会活動報告（分野リポジトリ関係者ネットワーク）
17:30-17:45	小委員会活動紹介（平成31年発足小委員会）
17:45-18:00	まとめ 全体意見交換 小委員会活動を振り返っての今後への提言
	閉会挨拶



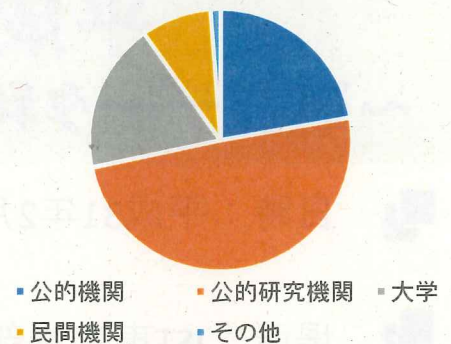
趣旨

- 研究データ利活用協議会は、データの利活用に興味がある会員による、データ利活用を推進する自律的な運営をしている協議会です。
- 今回は、研究データ共有に関して成果が出ているCI0弘前大学グループの実例で紹介します。また昨年度発足の小委員会の1年間の活動成果を参加者と共有し、より深化させ広めます。
- 小委員会報告を受けて、更にRDUFの活動が活発になるように、意見交換をします。

研究データ利活用協議会 (RRUF) について

- 研究データの利活用に係る議論をさらに促進するため、2016年6月に「研究データ利活用協議会」(RDUF; Research Data Utilization Forum) が設立されました。
- 研究データの利活用に興味がある方はどなたでも、無料で参加できます。
- 現在の会員の所属機関は右の通り、公的研究機関 大学、公的機関 (図書館、博物館) 等幅広く、職種も研究者から図書館員、学生等様々な人が参加しています。
- 現在の会員数は100名強です。(2018年10月)
- 参加機関の現場の抱える課題に対応するガイドライン、ノウハウ集、事例集としてまとめることを目指します。

会員分布



機関会員 RDUFの活動の趣旨に賛同し、研究会などの企画・運営を行う等の貢献をする機関

- 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
- 国立大学法人千葉大学附属図書館/アカデミック・リンク・センター
- 国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS)
- 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)
- 国立国会図書館 (NDL)
- 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (NII)

小委員会とは

RDUFには、様々な立場の方が様々な思いや課題を抱えて参加しており、その中では分野を越えた情報共有を行います。様々な個別課題について深く議論することはできません。そこで、RDUF会員の中で共通する課題をもった有志が小委員会として集まり、課題解決に向けて意見交換をし、その成果を指針やガイドラインの形で世の中に提言して、研究データ利活用に資することを目的とします。現在、以下の3つの小委員会が活動中で、今後も募集中です。

- [データ管理計画 \(Data Management Plan: DMP\)](#) 2019年3月末まで
- [研究データのライセンス検討プロジェクト](#) 2019年3月末まで
- [ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク \(Japan Data Repository Network : JDARN\)](#) 2019年9月末まで

■ お問い合わせ先

研究データ利活用協議会 (RDUF) 事務局
(国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 知識基盤情報部)
e-mail: info@japanlinkcenter.org

RDUF入会はこちら
から!



<https://japanlinkcenter.org/rduf/about/index.html#s003>